

実証事例の概要

- ・ 実証年度：令和3年度
- ・ 実証場所：宍粟市
- ・ 経営体名：(株) A 営農
- ・ 栽培作物：水稻
- ・ 実証面積：50a

実証・導入の目的

- 農薬散布作業の省力化及び若手オペレーターの確保を目的に、ドローン導入の検討を行っている。
- 既存のブームスプレーヤとドローンによる水稻出穂前防除作業における省力化及び防除効果等を比較検討した。

実証・導入した技術

- ・ 技術内容：農業用ドローンによる防除
- ・ 機械名（型式等）：
D J I 社製（AGRAS TS-20）

取り組みの特徴・効果

- ドローンにより、散布作業時間が10aあたり20分から2分に大幅に減少し、ドローンの作業性の良さを実感できた。
- 導入するにはコストに見合うのか、さらなる検証が必要。
- 今後、水稻の除草剤や施肥のほか他品目（黒大豆等）の病害虫防除等へのドローン導入に向けた実証、コスト試算を進める。



・ ドローンの機体



・ 散布作業の様子